

2. 新システム導入にあたって

新システム導入にあたって

総合情報処理センター長
小山 純

平成3年12月以来、進めてきた新システムの導入作業が完了し、1月4日横山学長、井上事務局長、運営委員の方々のご臨席を得て、新システム披露の式典を開催した。この度導入された新システムは、富士通株式会社のミニスーパーコンピュータ VP1200/10 を中核とし、それに約50台のエンジニアリングワークステーション (EWS)、100台のパーソナルコンピュータが接続されている。さらに本システムは、来年度にかけて総延長十キロメートルを越える学内ネットワークに接続され、全ての学部の研究室から直接利用できるようになる予定である。研究、教育に存分に活用頂くようお願いしたい。

本稿では、新システム決定の経緯について簡単に述べる。

- (1) 平成3年12月20日開催された、学長を委員長、部局長、事務局長ならびに総合情報処理センター長を委員とする長崎大学情報処理委員会に於て、システムの更新を平成5年1月に行うことを決定し、仕様策定委員を任命した。
- (2) 仕様策定委員会は計6回の委員会を開催し、現在の技術水準、利用者の要望、長崎大学の将来の情報処理の在り方等について慎重に審議の上、平成4年3月31日開催された第6回委員会に於て仕様案を決定した。
- (3) 仕様策定にあたっては、内外12社に対し資料提供を依頼し、提出された7社の資料に対し資料調査を行った。また運営委員を通じて各部局の次期システムに対する要望をアンケート調査し、各部局代表者に対するヒアリング調査を行った。さらに情報教育担当教官より、意見を求めた。
- (4) システムの基本方針がほぼ確定した2月4日および仕様案を策定した4月16日に文部省学術情報課を訪問、説明し、指導と了解を求めた。
- (5) 以上の経緯で策定した仕様案を平成4年4月23日開催された長崎大学総合情報処理センター運営委員会で審議の上最終案とした。また、技術審査委員候補を選出した。この最終案を4月24日開催された長崎大学情報処理委員会で説明し、審議の上確定した。
- (6) 新システム入札公告を5月21日付文部省官報に記載し、6月12日説明会を開催した。

- (7) 7月13日入札が行われ、富士通株式会社1社のみ応札した。
- (8) 7月21日、富士通株式会社の提案書について技術審査委員により技術審査が行われ、適格と判定された。
- (9) 7月24日開札の結果、富士通株式会社が落札した。

今回導入された新システムは、強力なパワーを有しているが、必要性が強く指摘されている情報教育を行うには、端末機の台数等、到底十分とは言えないのが実情である。

長崎大学総合情報処理センターとしても、御要望に応じて、システムの充実を計っていきたいと考えている。全学のご支援を心から願う次第である。